

科(科目)	地理歴史(歴史総合)	単位数	2 単位 学年（系）：1 学年必修
使用教科書	山川出版社『歴史総合 近代から現代へ』		
副教材	浜島書店『新詳歴史総合』、山川出版社『歴史総合要点チェック』		

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①広い知識と科学的思考に裏付けられ、事に臨んで適切な判断ができる人間に育てる。 ②強靱な体力と不屈の忍耐力を持ち、信念を持って行動するたくましい人間に育てる。 ③相手の立場に立って物事を考え、人の心を汲み取って思いやる温かい人間に育てる。
カリキュラム・ポリシー	①1・2 学年では全員が共通の科目を学び、広く基礎的な知識・技能を身につけます。 ②3 学年では選択科目を多く設置し、個々の興味・関心を進路目標に合わせ科目を選択し学びます。 ③授業第一主義とし、主体的・対話的で深い学びの授業、ICT を積極的に活用しわかりやすい授業を実践します。 ④長岡市との「探究学習の推進に関する連携協定」のもと、地域の大学、企業、行政と連携し、地域資源を活用した生徒主体の探究活動を実践します。 ⑤学校行事や部活動では、安全安心な環境を整備し、生徒の主体的な活動を支援します。

2 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題追求や解決の活動を通じ、国際社会に主体的に生きる資質・能力を育成する。 (1) 近現代の歴史の変化に関わる緒事象について、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 (2) 現代の歴史の変化に関わる緒事情の意味や意義を多面的・多角的に考察したり、歴史的課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる緒事情について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追求、解決しようとする態度を養い、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度と自覚を深める。
--

3 指導の重点

①基礎的・基本的な知識の理解と定着を目指すとともに、史料の読解力、統計やグラフの作成と活用力に加え、それらの表現や発表の力を身につけさせる。 ②ICT 機材をはじめとした教材を利用し、歴史的事象について興味・関心を深め、課題に対する考察力や表現力を身につけさせる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる緒事情について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ ・定期考査・小テスト ・小テスト ・グループ討議 から、評価します。 (40%)	以上の点を踏まえ ・定期考査 ・プレゼンテーション ・教科書課題 ・グループ討議 ・ワークシート から、評価します。 (40%)	以上の点を踏まえ ・プレゼンテーション ・論述課題 ・振り返りシート から、評価します。 (20%)
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	時間	教材名	学習活動	評価の観点	評価方法
4	歴史の扉	2 A 歴史の扉	歴史と私たち 日本と洋菓子 歴史の特質と資料 台湾に置ける砂糖の生産	身近な事柄が歴史と結びつきをもっていること、資料にもとづいて歴史が記述されていることを理解する。	a b c	グループ討議 プレゼンテーション
	近代化への問い	10 B 近代化と私たち	1 交通と貿易／2 産業と人口／3 権利意識と政治参加や国民の義務／4 学校教育 5 労働と家族／6 移民	資料をもとに近代化にともなう人々の生活や社会の変容について興味関心を持ったこと、疑問に思ったことなどを見いだし、問いの形に表現する。	b c	教科書課題 論述課題
	結びつく世界		アジア諸地域の繁栄と日本 ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	16 世紀におけるアジア各地の大帝国の繁栄と、ヨーロッパで成立した主権国家体制について理解し、アジア諸国とヨーロッパ諸国の関係について考察する。	a b	小テスト ワークシート

5	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立		ヨーロッパ経済の動向と産業革命 アメリカ独立革命とフランス革命 19世紀前半のヨーロッパ 19世紀後半のヨーロッパ	産業革命、18世紀以降の欧米の市民革命や国民統合の動向をもとに国民国家の形成について理解する。またヨーロッパ諸国の進出により植民地化が進んだアジア諸国の対応を理解する。	a b	小テスト ワークシート
	中間考査	1			a b	定期考査
		10	西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 中国の開港と日本の開国	アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し関連づけ、アジア諸国と欧米諸国のとの関係の変容などを多面的・多角的に考察する。	a b	小テスト ワークシート
6	明治維新と日本の立憲体制		明治維新と諸改革 明治初期の対外関係 自由民権運動と立憲体制	欧米諸国との外交関係に留意し、明治維新や大日本帝国の制定などをもとに立憲体制と国民国家の形成について理解する。また、政治変革の特徴や憲法の特徴を考察する。	a b	小テスト ワークシート
	帝国主義の展開とアジア		条約改正と日清戦争日本の産業革命と教育の普及 帝国主義と列強の展開 世界分割と列強の対立 日露戦争とその影響 自由・制限／開発・保全	列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などをもとに、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。また、帝国主義政策の特徴や列強間の関係変容などについて考察し、表現する。	a b	小テスト ワークシート
	近代化と現代的な諸課題			2つの観点から1つを選び、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探求した結果を表現する。	b c	グループ討議 論述課題 振り返りシート
	期末考査	1			a b	定期考査
7	国際秩序の変化や大衆文化への問い	15 C 国際秩序の変化や大衆化と私たち	1 国際関係の緊密化／ 2 アメリカ合衆国とソヴィエト連邦／ 3 植民地の独立／ 4 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化／ 5 生活様式の変化	資料をもとに国際秩序の変化や大衆化にともなう人々の生活や社会の変容について興味関心を持ったこと、疑問に思ったことなどを見いだして、問いの形に表現する。	b c	教科書課題 論述課題
8	第一次世界大戦と大衆社会		第一次世界大戦とロシア革命 国際平和と安全保障	第一次世界大戦の展開、各国やナショナリズムの動向、国際連盟の成立な	a	小テスト

9			アジア・アフリカ地域の民族運動 大衆消費社会と市民生活の変容 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	どをもとに、第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。また、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを考察する。 大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解し、社会の変容と社会運動との関連を多面的に考察する。	b	ワークシート
	経済危機と第二次世界大戦		世界恐慌の発生と各国の対応 ファシズムの台頭 日本の恐慌と満州事変 日中戦争と国内外の動き 第二次世界大戦と太平洋戦争	世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などをもとに国際協力体制の動揺について理解し、背景や要因について考察する。 日中戦争・第二次世界大戦・太平洋戦争の展開について理解し、社会におよぼした影響について考察する。	a b	小テスト ワークシート
10	中間考査	1			a b	定期考査
	戦後の国際秩序と日本の改革	5	新たな国際秩序と冷戦の始まり アジア諸地域の独立 占領下の日本と民主化 占領政策の転換と日本の独立	第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について理解する。また、日本とその他の地域を比較し、相互に関連づけ日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察し、表現する。	a b	小テスト ワークシート
	国際秩序の変化や大衆化と現代的な課題		対立・強調／平等・格差／統合・分化	3つの観点から1つを選び、資料を活用し、事象の原因・結果や影響などを考察し、探究した結果を発表する。	b c	グループ討議 論述課題 振り返りシート
11	グローバル化への問い	5 D グローバル化と私たち	1 冷戦と国際関係／2 人と資本の移動／3 高度情報通信／4 食料と人口／5 資源・エネルギーと地球環境／6 感染症／7 多様な人々の共存	資料をもとにグローバル化にともなう人々の生活や社会の変容について興味関心を持ったこと、疑問に思ったことなどを見いだし、問いの形に表現する。	b c	教科書課題 論述課題
	冷戦と世界経済		集団防衛体制と核開発 米ソ両大国と平和共存 西ヨーロッパ経済復興	冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、第三	a	小テスト

12			第三世界の連携と試練 55 年体制	世界の形成などをもとに 国際政治の変容を理解 し、地域紛争と冷戦の関 係や第三世界の経済政策 や欧米やソ連の政策転換 の要因を考察し表現す る。	b	ワークシート
	期末考查	1			a b	定期考查
1		1 2	日本の高度経済成長 核戦争の恐怖から軍縮 へ 冷戦構造のゆらぎ 世界経済の転換 アジア諸地域の経済発 展と市場開放	世界経済の拡大と経済成 長下の日本の社会につい て理解し、経済成長によ る生活や社会の変容など を多面的に考察する。 石油危機、アジア諸地域 の経済発展や市場開放な どをもとに市場経済の変 容と課題を理解し、市場 経済のグローバル化の特 徴や日本の役割などを考 察する。	a b	小テスト ワークシート
	グローバル化する世 界		冷戦の終結と国際情勢 ソ連の崩壊と経済のグ ローバル化 発展途上国の民主化と 独裁政権の動揺 地域紛争の激化 国際社会のなかの日本	冷戦の終結、民主化の進 展、地域紛争への対応を もとに、冷戦後の国際政 治の変容について理解 し、冷戦終結後の国際政 治の特徴日本の役割など を多面的に考察する。	a b	小テスト ワークシート
2	現代の課題		現代社会の諸課題 現代日本の諸課題	現代社会の諸問題につい ての現状や要因を理解 し、どのように対応する か、諸外国との関係でど のように解決していける かを多面的・多角的に考 察する。	a b	小テスト ワークシート
3	現代的な諸課題の形 成と展望			歴史的な見方考え方を生 かして、現代的な諸課題 を考察する方法を理解 し、現代的な諸課題に対 して、歴史的な問を立て、 これまでの学習をもとに 考察し、表現できるよう にする。	b c	教科書課題 論述課題 プレゼンテー ション 振り返りシー ト
	学年末考查	1			a b	定期考查

計 64 時間(55 分授業)

7 課題・提出物等

各章ごとに小テストを行います。
ワークシートは主に授業中に取り組んでもらう課題で、ノート点検と一緒に提出してもらいます。
各学期に1・2回の論述課題・振り返りシートを提出してもらいます。

8 担当者からの一言

「歴史総合」は、おもに18世紀以降の日本の歴史を、世界の動きと密接に結びつけながら、学び考えてゆくことをめざしています。歴史を学ぶことは、たんに多くの事実を記憶することではありません。様々な歴史上のできごとを関連づけて、現在の問題はなぜ生まれてきたのか、よりよい社会実現のためにどのように解決すればよいのかを共に考えてゆきましょう。

(担当：五十嵐 慎之介)